

今、大きな時代の変動期をむかえた潮流のなかで、私たち町民のすべてが、健康で安心して暮らせる「まち」をつくっていくことが求められます。

二十一世紀に向けて、これからの町づくりは、町民と行政が力を合わせていくことが大切です。

そのためには、まず、町民に対して開かれた行政を目指して、「町民参加、対話の町政」を実現するために、町政懇談会や嘱託員、町内会長との対話や、広報紙などによる広報活動を進め、町民の声を町政に反映させていきます。

さらに時代とともに複雑になっていく行政について、町民の皆さんに理解してもらおうとともに、住民票や印鑑証明書発行などのオンラインシステム化、財務会計事務のコンピュータ導入により、事務の効率をよくし、窓口のサービスをさらに向上させていきます。

また、町民同士のつながりを深めることも大切です。

そのために、町内会などのコミュニティ活動を



「もとみや」をデザインする町政の拠点